

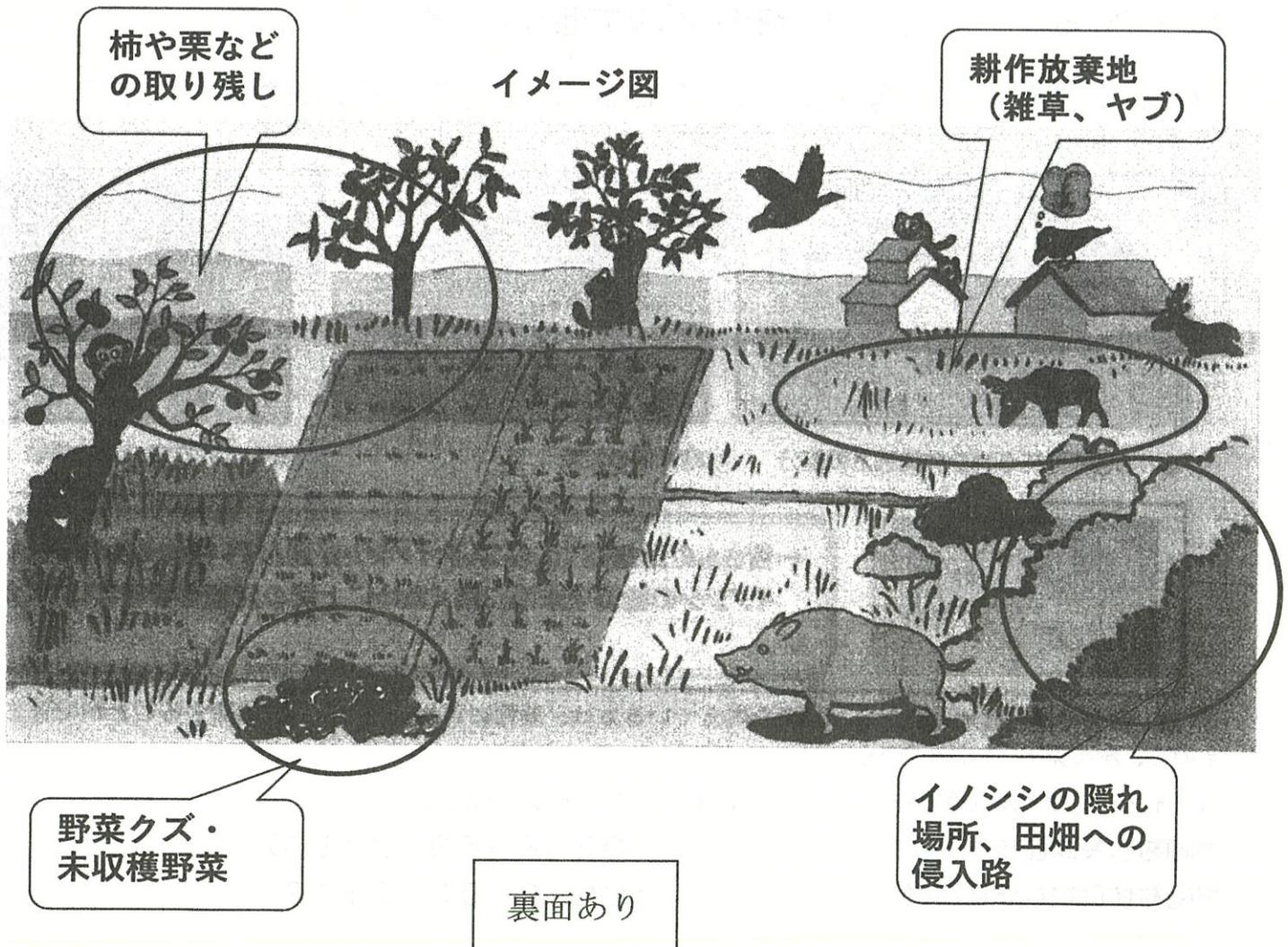
# イノシシの被害を防ぐために!!

近年、泉崎村でもイノシシの目撃情報や農作物への被害が増えています。

本来イノシシは、<sup>おくびょう</sup>臆病で人里には近づくことは無く、山で葉っぱや根っこ、ドングリ等の木の実やタケノコ、ミミズやカエルなどの小動物を食べて生活していました。しかし、近年その活動範囲が人里のほうまで広がってきています。

## イノシシが人里へ出てくるようになった主な理由

- ① 狩猟による捕獲圧の低下
- ② 生息域の拡大
- ③ 農地の耕作放棄地や藪の増加による隠れ家の増加
- ④ 野菜くずや柿など果樹の放置（取り残し）



## イノシシの増加理由

イノシシは、1～2年で成熟し、通常1頭当たり4～6頭、多くて10頭の子どもを産みますが、山の中だけでは冬場にエサ不足のため、冬を越せず、うり坊は本来半分程度しか生き残らないとされています。

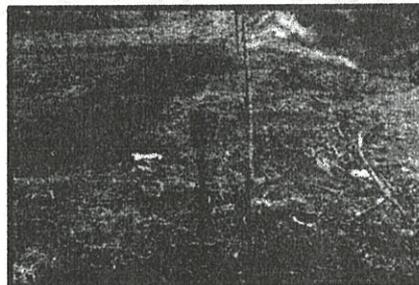
しかし、人里にすれば、畑にある栄養価の高い野菜くず等のエサがたくさんあるため、ほとんどのうり坊が生き残ります。このため毎年イノシシを捕獲したとしても増え続けている状況にあります。

## イノシシ被害を軽減するための対策

生態や特徴を知る	対策の効率を上げるには生態や特徴を知ることが大切です
隠れ家等をなくす	耕作放棄地や藪を刈り払い、通り道等をなくすことで水田や畑に近づけない
えさ場をなくす	放任果樹の除去や、野菜や果樹等のくずを適切に処分する
囲って守る	水田や畑を防護柵で囲って守る
みんなで対策	集落全体で対策に取り組むことにより効果が得られます



畑のわきに捨てられた作物残さの処分



電気柵の設置



藪など通り道の刈り払い



←皆さんの田畑近くにもこんなイノシシが潜んでいるかもしれません。  
イノシシの被害を未然に防ぐために上記の対策を参考にしてください。

※ 個人で被害農地に電気柵の設置を考えている方は、要件により費用の一部を補助することができますので、産業係へご相談下さい。

※ イノシシは大変危険ですので近寄らずに下記までご一報ください。

泉崎村事業課産業係

(0248-53-2430)

泉崎村住民福祉課住民係

(0248-53-2112)